



親子いっしょにつくる七夕飾り（習志野台児童ホーム）

主 な 記 事	
議案の概要 可決された決議・意見書 議案議決結果一覧表 永年在職議員表彰	2
各会派の議案に対する質疑 農業委員及び各種審議会委員	3
常任委員会・議会運営委員会の審査概要 請願・陳情議決結果一覧表	4
一般質問 (公明党・新風)	5
一般質問 (ふなばし21・元気都市と安歩と女性)	6
一般質問 (市清会・緑政会)	7
一般質問 (日本共産党・市民連合・無所属)	8

改選後初めての定例会が、六月七日から二十四日まで
の十八日間の会期で開かれました。

初日には、市長より提案された十五議案の説明があり、
これに対する質疑を、十一日に五人の議員が行いました。

また、十四日から十七日の四日間にわたり一般質問が
行われ、二十三人の議員が市政の諸問題について質問し
ました。

二十一日には常任委員会が開かれ、付託された議案及
び請願・陳情の審査が行われました。

最終日には、議案、請願・陳情及び議員提案の決議・
意見書を議決し、閉会いたしました。

第2回定例会

フレッシュな陣容で熱い議論を展開
議案15案を可決・請願陳情17件を採択

会議の経過

- ◆六月七日(月)
 - 開会
 - 会期の決定
 - 議案の提案説明
- ◆十一日(金)
 - 議案質疑
 - 専決処分承認議案の採決
 - 議案の付託
- ◆十四日(月)十五日(火)
 - 一般質問
- ◆十六日(水)
 - 一般質問
 - 請願・陳情の付託
- ◆十七日(木)
 - 一般質問
- ◆二十一日(月)
 - 常任委員会
- ◆二十四日(木)
 - 付託事件の審査報告及び採決
 - 議案の採決
 - 閉会

議案・意見書について



議案の概要

条例関係

消防団員等公務災害補償条例の改正
【第一号】
政令の一部改正に伴い、補償基礎額及び介護補償の額を引き上げるもの。

消防団員退職報償金の支給に関する条例の改正【第二号】
政令の一部改正に伴い、退職報償金の額を引き上げるもの。

国民健康保険条例の改正

【第三号】
地方税法の一部改正により、保険料の延滞金及び還付加算金割合に特例措置を設けるもの。

介護認定審査会の委員の定数を定める条例の新設
【第四号】
介護保険法の規定に基づき、介護認定審査会の委員の定数を定めるもの。

認定審査委員定数 百二十人

福祉会館条例の改正

【第五号】
南部福祉会館を設置するもの。（九月一日開設予定）所在地 湊町二丁目十一番十九号

老人福祉センター条例の改正

【第六号】
南部福祉会館内に南老人福祉センターを設置するもの。

老人デイサービスセンター条例の改正
【第七号】
南部福祉会館内に南老人デ

イサービスセンターを設置するもの。

契約関係

西浦下水処理場雨天時汚水沈殿池増設工事請負契約の締結
【第八号】
西浦下水処理場に雨天時汚水沈殿池を増設するもの。

西浦下水処理場に雨天時汚水沈殿池を増設するもの。
契約額 二億六千四百六十万円

契約の相手方 清水建設㈱

西浦下水処理場水処理電気設備工事請負契約の締結
【第九号】
西浦下水処理場に水処理機械設備を稼働させるための電気設備を設置するもの。

契約額 五億二千七百万円

契約の相手方 富士・アヅサ特定建設

工事共同企業体

二宮幹線管渠布設工事請負契約の締結
【第十号】
田喜野井地区の浸水防止並びに公共水域の水質保全及び生活環境の向上を図るため幹線管渠を布設するもの。

契約額 五億四百万円

契約の相手方 東急建設㈱

田喜野井幹線管渠布設工事（その十）請負契約の締結

【第十一号】
田喜野井地区の浸水防止並びに公共水域の水質保全及び生活環境の向上を図るため幹線管渠を布設するもの。

契約額 四億六千二百万円

契約の相手方 大成建設㈱

その他

以上の議案四案は、いずれも「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」の規定により議決を得るもの。

四市複合事務組合規約の変更に関する協議【第十二号】
伝染予防法の廃止により、四市（船橋市・習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市）で共同処理してきた事務の内、伝染病隔離病舎に関する事務を廃止するため、規約を変更するもの。

専決処分の承認を求めること（市税条例の改正）
【第十三号】
地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、個人市民税の非課税限度額の引き上げや最高税率の引き下げ等を専決処分したもの。

専決処分の承認を求めること（都市計画税条例の改正）
【第十四号】
地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、個人市民税の非課税限度額の引き上げや最高税率の引き下げ等を専決処分したもの。

専決処分の承認を求めること（国民健康保険条例の改正）
【第十五号】
政令の一部改正に伴い、超短期所有土地の譲渡等に係る保険料算定の特例規定を削除する専決処分をしたもの。

可決された 決議・意見書

介護保険の実施に向けての基盤整備等に関する決議

本市議会は、市民が安心して受けられる介護保険制度とするため、市において次の対策を講じられるよう、求めるものである。

一、ホームヘルパーをふやし、24時間の巡回サービスを全市内で実施すること。
二、デイサービスセンターは、23地区コミュニティごとに設置すること。
三、特別養護老人ホームを増設すること。
四、所得の低い人の保険料や利用料の減免制度や助成制度を実施すること。
五、介護保険で対象から外されても、市独自の制度で必要なサービスを受けられるようにすること。

六、介護サービスの基盤整備や市独自のサービス実施のための財政支援を国・県に要望すること。

以上、決議する。

「食料・農業・農村基本法」とその関連施策に関する意見書

政府は、現行の「農業基本法」にかわる新たな基本法として、21世紀に向けた今後の食料、農業、農村の各分野にわたる施策の基本理念と基本方向を明らかにしたものと、通常国会に法案を上程しているが、食料供給システムの確立・株式会社化の農業参入要件等、種々課題もある。

国民合意の「食料・農業・農村基本法」とその関連施策が制定されるよう、強く要望する。

永年在職議員表彰

このたび、永年在職議員として市政の振興に寄与したことにより、全国市議会議長会、関東市議会議長会及び千葉県市議会議長会から次の方々が表彰されました。

○全国、関東、千葉県

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

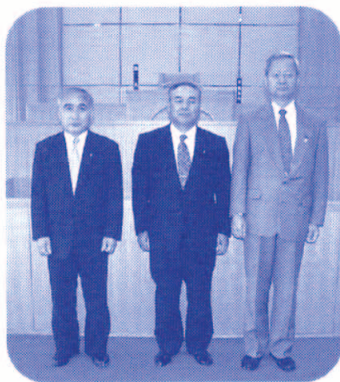
議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰

議長会 在職20年表彰



石川 敏宏
和 田 善 行
興 松 勲

○千葉県市議会議長会
在職8年表彰
石川 敏宏
和 田 善 行
興 松 勲
安 藤 信 宏
熊 谷 稔 (前)
小 石 洋
斎 藤 忠
佐々木 照 彦
清水 美智子
矢 野 光 正 (前)
森 田 利 宏
林 早 川 文 雄
矢 野 光 正 (前)

議案議決結果一覧表

議案番号	件 名	各 会 派 の 賛 否							
		ふ	市	緑	新	公	共	民	元 無
議案第1号	船橋市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	船橋市消防団員退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	船橋市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	船橋市介護認定審査会の委員の定数を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	船橋市福祉会館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	船橋市老人福祉センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第7号	船橋市老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第8号	西浦下水処理場雨天時汚水沈殿池増設工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	西浦下水処理場水処理電気設備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	二宮幹線管渠布設工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	田喜野井幹線管渠布設工事（その10）請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	四市複合事務組合規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	専決処分の承認を求めることについて（船橋市市税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第14号	専決処分の承認を求めることについて（船橋市都市計画税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	専決処分の承認を求めることについて（船橋市国民健康保険条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○

○＝賛成 ×＝反対

ふ（ふなばし21） 市（市清会） 緑（緑政会） 新（新風） 公（公明党）
共（日本共産党） 民（市民連合） 元（元気都市と安歩と女性） 無（無所属）

議案に対する質疑

市議会

第二号について

問 退職報償金の算定方法は、五年以上勤務した者で、退職日の階級で算定する。

答 支給者数、総支給額は、十年度は四十一人で、総額千二百三十万円となる。

問 認定審査会の定数の根拠は、一合議体の委員の内訳は、約八千人の申請を予想し、百二十人とした。一合議体は、医師二名、歯科医師・看護婦各一名、薬剤師・介護福祉士等五名で構成する。

問 どのような審査を行うのか。

答 医師の意見書・調査員の特記事項をもとに、一次判定が的確な審査を行い、要

問 介護認定を受ける前の訪問調査はいつから行われるのか。

答 保健婦と公社の介護支援専門員が十月から実施する。

日本共産党

第四号について

問 介護保険導入について、全国市長会が国へ五項目の要望をしているが、実現されなくても、現在の高齢者福祉サービスを後退させないことを明らかにすること。

答 今現在行っているサービスは後退があってはならないと考えている。来年四月実施に向け努力をしている。

第六号について

問 南老人福祉センターにも送迎バスを配置せよ。

答 当該地域は人口密集地で、徒歩利用が多数見込まれることや、周辺道路の交通量も多いこと等により、バスが配置できないが、開館後の推移をみて検討したい。

介護状態区分を決定する。

問 介護認定を受ける前の訪問調査はいつから行われるのか。

答 保健婦と公社の介護支援専門員が十月から実施する。

第八号・第十一号について

問 西浦下水処理場の工事の進捗状況はどうか。

答 発注率は八四％となる。

問 田喜野井地区における工事の安全対策はどうか。

答 交通安全対策を配置し、児童等の安全対策を期したい。

第十二号について

問 伝染病隔離病舎の廃止後は、どこで対応するのか。

答 第二種感染症については、船橋中央病院及び浦安市川市民病院が指定されている。

第十三号について

問 定率減税とした理由は、納税者間の税負担の均衡を崩さずに減税できる。市は四十三億円の減収となる。

第八号・第十一号について

問 落札金額が予定価格の九・九％にもなり、本来の競争入札とは違うのでは。

答 昨年十月から導入しているが、落札率のみをもって評価するのは難しいと思う。引き続き見守ってきたい。

問 下水道普及の遅れは県に強く要請すべきだと思うが、県費補助については引き続き強く要望していきたい。

第十三号・第十四号について

問 大企業・金持ちへの減税が優先されている税制改正の評価はどうか。

答 景気に配慮したものであると考え、一定の評価ができるものと考えている。

元気都市と安歩と女性

第十号・第十一号について

問 市長は公約で入札制度の改革を進めるとしているが、今議会に提案されている契約案件は、ジョイントベンチャー（共同企業体）を除き大手ゼネコンが落札している。これは一般競争入札とはいっても、制限がついていることから、大手ゼネコンが受注する結果となる。

最近、コンストラクション・マネジメント（建設管理）CM方式という契約方法が注目されている。この方式は、コンサルタント

会社に監理業務の手数料を支払い、コンサル会社が工事全体を作業内容別に分割

し、発注者が実際に工事を手がける専門業者やメーカーと直接契約を結ぶ方式で、一括発注方式と違い、専門業者との価格折衝や全体の工程・品質などの管理を専門のコンサル会社が代行するものだが、この方法を取り入れる考えがあるかどうか。

答 CM方式はアメリカなどの町や村などで、技術力の脆弱な団体に対し、プロである業者が支援する制度だが、中身は承知していない。

下水道を例にとると、下水処理場のような難易度の高い工事は下水道事業団に委託しており、今後は面的整備になるので、市内業者でもやれる工事がふえる。そういう意味では、CM方式を使わなくてもやれると思うが、研究はしたい。

公明党

第一号について

問 補償基礎額・最高限度額の算出根拠は何か。

答 国家公務員公安職俸給表を基礎に算出した。

問 第九条「常時介護」と「随時介護」の違いは、日常生活が病床限定か食事等で離床が可能かの違い。

第四号について

問 訪問審査員の資質向上は、実地研修を実施し、基本調査マニュアルも作成する。

問 職員と住民間のトラブル対策の考えは、担当職員でそれなりの対応ができるようにしている。

第六号について

問 管理委託決定の経緯及びその効果はどうか。

し、発注者が実際に工事を手がける専門業者やメーカーと直接契約を結ぶ方式で、一括発注方式と違い、専門業者との価格折衝や全体の工程・品質などの管理を専門のコンサル会社が代行するものだが、この方法を取り入れる考えがあるかどうか。

答 CM方式はアメリカなどの町や村などで、技術力の脆弱な団体に対し、プロである業者が支援する制度だが、中身は承知していない。

下水道を例にとると、下水処理場のような難易度の高い工事は下水道事業団に委託しており、今後は面的整備になるので、市内業者でもやれる工事がふえる。そういう意味では、CM方式を使わなくてもやれると思うが、研究はしたい。

第三次行政改革大綱の方針に基づいた。年間約五千万円の経費軽減となる。

第七号について

問 一日当たり利用者数の予測及び既設施設の実績は。

答 前者十五名、後者十三名。

第八号・第九号について

問 同計画の十二年度末進捗状況、供用開始地域は。

答 七二％、五百ヘクタール。

問 同工事の今後のスケジュール及び総事業費は。

答 来年度から四か年継続事業で水処理施設一系増設。総事業費約五百三十億円。

第十号について

問 田喜野井幹線（その九）の今後の発注予定、工期は。

答 六月十八日に入札予定、工期は平成十二年度末。

問 工法選定理由は。

答 現場の状況、経済比較等から総合的に判断した。

市民連合

第二号について

問 消防団員の退職報償金支給額表の六段階を三段階にできないか。

答 改善の方向で、全国消防長会等へ積極的に働きかけをしていく。

第四号について

問 苦情処理機関を設置する考えはないか。

答 介護保険をスムーズに運ぶために、知識の深い職員を窓口には置き混乱のないようにしたい。

第六号・第七号について

問 南老人福祉センターの運営を社会福祉協議会に委託するメリットは何か。

答 必要な時期にのみ臨時職員を採用するなど、機動的、弾力的な対応がとれる。

問 老人デイサービスセンターの運営委託先を順番で決めるのは問題ではないか。

答 相当の実績と経験を重視し開設順に委託してきたが、今後は介護保険制度との関係を含め検討したい。

第八号・第十一号について

問 今後の下水道の事業認可の予定はどうか。

答 事業認可は、おおむね七年度で事業完了する区域とされている。現在事業中の区域が七年度経過した時点で、認可拡大を行っていく。

問 三田幹線の完成により下水道の普及率はどれくらい改善されるか。

答 十年度末現在三九・二％、十一年度の整備により約四一・三％に上昇する。

農業委員及び各種審議会委員

農業委員	明 信 田 柳	三 夫 捷 昌	久 保 中	司 子 賢 和	田 根 倍 関
総合計画審議会	宏 敏 川 石	洋 村	中 村	実 彦 剛	中 野
青少年問題協議会	子 和 根 関	晴 好	久 保 田	雄 文 川 早	
民生委員推薦会	雄 静 村 中	穂 秀 田 角			
都市計画審議会	夫 昌 江 中	雄 浩 重 藤 佐	大 晴 幹 倉 朝	長 谷 川	
住居表示審議会	勲 松 興	久 則 正 田 沢	明 子 和 沢 金	高 木	
消防委員会	夫 敏 沢 池	男 則 田 森	夫 治 郁 俊 戸 七	鈴 木	

請願・陳情書の提出は、署名のみで可能に

これまで、請願書・陳情書には、請願者の氏名に押印が必要でしたが、今定例会で、押印廃止の陳情を採択したことに伴い、市議会会議規則を改正し、請願者の署名をもって提出することができるようになりました。

ただし、ワープロやゴム印などで印字された氏名には、押印が必要です。

広報編集委員

委員	中 村 実	門 田 正 則	齊 藤 守	松 崎 裕 次	高 橋 忠	齊 藤 誠
市議会だよりの適正な編集、発行を行うために設置されている広報編集委員会の委員は次のとおりです。						
委員長	野 田 剛 彦					
副委員長	藤 新 三 郎					
(元気都市と安歩と女性)						
(市議会)						
(市民連合)						

ふなばし21

学級崩壊等、教育問題を伺う

問 学級崩壊の認識の仕方について伺いたい。

答 日常的に複数の生徒がたち歩いたり、騒ぎ立てるなどして、授業を成立させることが極めて困難な状況と認識する。

問 低学年と高学年では学級崩壊の要因が違うが、本市の状況はどうか。

答 低学年では集団生活の中での自己コントロールの自立性の欠如、高学年では心身の発達が進む児童に十分対応できないことが考えられる。

問 本市の学級崩壊の状況と対応について聞きたい。

問 三番瀬の保全や漁場の改良、港湾施設の再編整備など三項目の要望書を県に提出しているが、経緯と根拠



水鳥の憩う三番瀬

相談活動の充実やチームティーチングなど指導も工夫をし

問 チームティーチングの効果はどうか。

問 市民が身近に海と親しみ、海と触れ合えるような、海を生かしたまちづくりが重要と常々考えるもので、今回、要望書を提出した。青潮対策として、しゅん

せつ跡地の埋め戻しが必要と考えるがどうか。

答 青潮対策の必要性は強く痛感している。

問 産業の振興、大震災等を踏まえ、港湾施設整備の必要性の認識はどうか。

答 大切な都市基盤の一つであり県に整備方も要望した。

問 第二湾道、インターチェンジの必要性もあるが、今回の県の縮小案への見解はどうか。

答 提言も踏まえ、次の計画策定懇談会で発言したい。

問 ペンチャー企業による給食残飯の肥料化が中断しているが、現状はどうか。

答 資金不足や焼却を前提にしたこれまでのシステム等から中断したが、新しい堆肥化の機械を小学校に設置し、性能試験を行っている。

問 幼児教育のあり方を伺う

問 幼児期は人格形成での重要な時期であるが、幼児虐待が社会問題となっている。本市の状況と対策はどうか。

答 「家庭児童相談室」を設置し、助言・指導を行っている。十年度には虐待に関する、十六件の相談があった。

問 策定中の生涯学習基本構想での幼児教育に対する基本的な考え方を伺う。

答 家庭は、子供の人格形成の基礎となるものの考え方、価値観、基本的な生活習慣を身につけさせる役割があるとともに、生涯学習の起点として重要性を持っているものと考えている。

問 公共交通に対する見解は

問 十年度に行った公共交通計画検討調査の概要を伺う。

答 東京都心まで六十分、船橋都心まで三十分と基本的な目標を立て、それを達成するための施策を検討してきた。

問 高齢者・障害者にも配慮した低床式ミニバスで、市内に点在する公共施設を循環するバスを市の負担で走らせるべきと考えるが、

問 戸籍情報の取扱いについて

問 住民票情報と対比させながら制度の説明と電算化の



低学年図書室でのびのび読書

答 循環バスの導入に向けて、早い時期に結論を出したい。

問 南北を結ぶ新交通システム導入の可能性を伺いたい。

答 導入ルート、空間、採算面など課題も多いが、長期的な課題として研究したい。

問 介護保険導入まで後わずかに

問 認定漏れ等の高齢者に対する、今後の福祉サービスの取り組み方針はどうか。

答 保険制度が始まってからもサービスの後退はさせないと言

問 訪問調査員は必要か、研修はどう行つたのか。

答 調査員は三十名程度必要で、調査マニュアルを作成し、質の向上を図りたい。

問 馬込斎場の今後を伺う

問 十分連携を取り、円滑な運営を行いたい。

問 読書は心の教育の面から重要であり、「朝の読書」などに取り組んでいる学校

答 より実践的な訓練を目指し、市内五十五校の小学校に避難し、それぞれ地域組織の自主計画で訓練を行う。

問 市の福祉・教育・防災・医療等のデジタルネットワークシステム構築はどのような構想か伺いたい。

答 豊かで便利な市民生活の実現のためには、総合的な情報システムの重要性を認識している。市民の多様なニーズに対応する、各分野の情報ネットワーク化した総合的なシステムの構築を図りたい。

問 阪神・淡路大震災を教訓とした、本市のこれまでの対応策を聞きたい。

答 防災無線の整備、職員動員体制の確立、災害時の応

答 予算について説明願いたい。

問 居住関係を公証するものに対し、戸籍は日本国民の身分を登録・公証する唯一のものである。平成九年より戸籍事務を約二億三千万掛け電算化している。これにより、届出から証明書発行までの時間が短縮され、市民に喜ばれている。

問 戸籍情報と住民基本台帳を取りまく環境で今後予想されることは何か。

答 市町村区域を越えた住民票のネットワーク化の法案が、国会で審議中である。

問 小学校で給食調理業務委託をした学校からも好評の声を聞くが、現状はどうか。

答 給食提供時間が遅れるなどのトラブルがあったが、その後は改善が図られ順調に運営されている。今後も、

問 行政の事務、事業を目的や重要性、費用対効果などを数値化し、行政の効率化を図る、事務事業評価システムの研究状況はどうか。

問 本年度の防災訓練の目的と訓練内容を伺う。

問 情報通信網の整備促進を望む

問 市で防災・教育・防災・医療等のデジタルネットワークシステム構築はどのような構想か伺いたい。

答 豊かで便利な市民生活の実現のためには、総合的な情報システムの重要性を認識している。市民の多様なニーズに対応する、各分野の情報ネットワーク化した総合的なシステムの構築を図りたい。

問 阪神・淡路大震災を教訓とした、本市のこれまでの対応策を聞きたい。

答 防災無線の整備、職員動員体制の確立、災害時の応

答 予算について説明願いたい。

問 居住関係を公証するものに対し、戸籍は日本国民の身分を登録・公証する唯一のものである。平成九年より戸籍事務を約二億三千万掛け電算化している。これにより、届出から証明書発行までの時間が短縮され、市民に喜ばれている。

問 戸籍情報と住民基本台帳を取りまく環境で今後予想されることは何か。

答 市町村区域を越えた住民票のネットワーク化の法案が、国会で審議中である。

問 小学校で給食調理業務委託をした学校からも好評の声を聞くが、現状はどうか。

答 給食提供時間が遅れるなどのトラブルがあったが、その後は改善が図られ順調に運営されている。今後も、

問 行政の事務、事業を目的や重要性、費用対効果などを数値化し、行政の効率化を図る、事務事業評価システムの研究状況はどうか。

問 男女共同参画の現状を伺う

問 策定中の船橋市基本構想、総合計画での位置づけは。

答 女性と男性が、社会の対等な構成員として自立し、ともに責任を負いながら共

元気都市と安歩と女性

会計制度の改善について

問 行政の効率的運営をするためには、現行の現金主義、単式簿記での会計制度ではデメリットが多い。企業会計原則を取り入れた制度導入を検討すべきであるが。

答 直ちに、発生主義の企業会計原則を適用するのは困難であるが、貸借対照表を作成し効率的な事務執行等図っている自治体もある。今後、国等の動向を見ながら導入の是非を研究したい。

問 事務事業評価システム導入を

問 行政の事務、事業を目的や重要性、費用対効果などを数値化し、行政の効率化を図る、事務事業評価システムの研究状況はどうか。

問 男女共同参画の現状を伺う

問 策定中の船橋市基本構想、総合計画での位置づけは。

答 女性と男性が、社会の対等な構成員として自立し、ともに責任を負いながら共

問 本年度の防災訓練の目的と訓練内容を伺う。

問 情報通信網の整備促進を望む

問 市で防災・教育・防災・医療等のデジタルネットワークシステム構築はどのような構想か伺いたい。

答 豊かで便利な市民生活の実現のためには、総合的な情報システムの重要性を認識している。市民の多様なニーズに対応する、各分野の情報ネットワーク化した総合的なシステムの構築を図りたい。

問 阪神・淡路大震災を教訓とした、本市のこれまでの対応策を聞きたい。

答 防災無線の整備、職員動員体制の確立、災害時の応

答 予算について説明願いたい。

問 居住関係を公証するものに対し、戸籍は日本国民の身分を登録・公証する唯一のものである。平成九年より戸籍事務を約二億三千万掛け電算化している。これにより、届出から証明書発行までの時間が短縮され、市民に喜ばれている。

問 戸籍情報と住民基本台帳を取りまく環境で今後予想されることは何か。

答 市町村区域を越えた住民票のネットワーク化の法案が、国会で審議中である。

問 小学校で給食調理業務委託をした学校からも好評の声を聞くが、現状はどうか。

答 給食提供時間が遅れるなどのトラブルがあったが、その後は改善が図られ順調に運営されている。今後も、

問 行政の事務、事業を目的や重要性、費用対効果などを数値化し、行政の効率化を図る、事務事業評価システムの研究状況はどうか。

問 男女共同参画の現状を伺う

問 策定中の船橋市基本構想、総合計画での位置づけは。

答 女性と男性が、社会の対等な構成員として自立し、ともに責任を負いながら共

問 本年度の防災訓練の目的と訓練内容を伺う。

問 情報通信網の整備促進を望む

問 市で防災・教育・防災・医療等のデジタルネットワークシステム構築はどのような構想か伺いたい。

答 豊かで便利な市民生活の実現のためには、総合的な情報システムの重要性を認識している。市民の多様なニーズに対応する、各分野の情報ネットワーク化した総合的なシステムの構築を図りたい。

問 阪神・淡路大震災を教訓とした、本市のこれまでの対応策を聞きたい。

答 防災無線の整備、職員動員体制の確立、災害時の応

答 予算について説明願いたい。

問 居住関係を公証するものに対し、戸籍は日本国民の身分を登録・公証する唯一のものである。平成九年より戸籍事務を約二億三千万掛け電算化している。これにより、届出から証明書発行までの時間が短縮され、市民に喜ばれている。

問 戸籍情報と住民基本台帳を取りまく環境で今後予想されることは何か。

答 市町村区域を越えた住民票のネットワーク化の法案が、国会で審議中である。

問 小学校で給食調理業務委託をした学校からも好評の声を聞くが、現状はどうか。

答 給食提供時間が遅れるなどのトラブルがあったが、その後は改善が図られ順調に運営されている。今後も、

問 行政の事務、事業を目的や重要性、費用対効果などを数値化し、行政の効率化を図る、事務事業評価システムの研究状況はどうか。

問 男女共同参画の現状を伺う

問 策定中の船橋市基本構想、総合計画での位置づけは。

答 女性と男性が、社会の対等な構成員として自立し、ともに責任を負いながら共



大切な子供の生命を守るチャイルドシート

問 本年度の防災訓練の目的と訓練内容を伺う。

問 情報通信網の整備促進を望む

問 市で防災・教育・防災・医療等のデジタルネットワークシステム構築はどのような構想か伺いたい。

答 豊かで便利な市民生活の実現のためには、総合的な情報システムの重要性を認識している。市民の多様なニーズに対応する、各分野の情報ネットワーク化した総合的なシステムの構築を図りたい。

問 阪神・淡路大震災を教訓とした、本市のこれまでの対応策を聞きたい。

答 防災無線の整備、職員動員体制の確立、災害時の応

答 予算について説明願いたい。

問 居住関係を公証するものに対し、戸籍は日本国民の身分を登録・公証する唯一のものである。平成九年より戸籍事務を約二億三千万掛け電算化している。これにより、届出から証明書発行までの時間が短縮され、市民に喜ばれている。

問 戸籍情報と住民基本台帳を取りまく環境で今後予想されることは何か。

答 市町村区域を越えた住民票のネットワーク化の法案が、国会で審議中である。

問 小学校で給食調理業務委託をした学校からも好評の声を聞くが、現状はどうか。

答 給食提供時間が遅れるなどのトラブルがあったが、その後は改善が図られ順調に運営されている。今後も、

問 行政の事務、事業を目的や重要性、費用対効果などを数値化し、行政の効率化を図る、事務事業評価システムの研究状況はどうか。

問 男女共同参画の現状を伺う

問 策定中の船橋市基本構想、総合計画での位置づけは。

答 女性と男性が、社会の対等な構成員として自立し、ともに責任を負いながら共



市 清 会

飯山満・古和釜線の松が丘地区に係る整備について伺う

問 今年の四月に、高根台小

学校のカーブのところが、また、その先の交差点が拡

幅された。松が丘地区にお

いては、目の前まで拡幅さ

れたことにより、いつ自分

たちの地域が拡幅されるの

かという期待感が持たれて

いる。飯山満・古和釜線の

松が丘地区に係る拡幅事業

の進捗状況とこれからの見

通しについて伺いたい。

答 松が丘地区については、

交通量も多く、歩道も狭い

ことから、早期に整備が望

まれていることは十分承知

しているが、現在整備を進

めている区間に引き続き、

高根近隣公園以南の未整備

箇所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業

か所を早期に整備し、事業



松が丘バス通り商店街の拡幅を

効果を高めたいと思ってい

前から自治会活動の中で、

再三陳情が出されていると

聞いているが、地域住民が

生活していく上での安全の

観点から、早い時期に実現

をお願いしたいが、今どの

緩和対策として、既に実施

しているバスベイスの設置、

歩行者などの安全対策とし

ての歩道の一部拡幅等につ

いて、可能なか所から実施

していきたい。

問 同地区商店街の歩道上に

立つ四か所の電柱により、

車椅子が通れない状況にあ

る。だれしもが安全な町に

暮らしていけるようなまち

づくりが必要であり、それ

には、こういった障害物を

取り除いていかなければな

らないと思っている。早い

時期に電柱の移設をお願い

したいがどうか。

答 電柱の管理者と十分協

議を行い、一日も早く民地

内に移設できるよう努力し

たい。

問 この商店街の手押し式信

号機の設置については、以

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

て、

ような状況になっているの

か。

答 松が丘一丁目一番地先の

古和釜線の手押し式信号機

については、交通管理者と

協議した結果、この夏頃に

は設置できると聞いている。

答 通学区域の弾力化や、大

規模な土地区画整理事業に

伴う児童生徒数の変化によ

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、



急がれる電柱の移動

来的に学校の統合、これに

は、そこで働く教員の減少

を見ずに統合を行う考えは

あるか。

答 山手地区の工場は、都市

計画地域の工業地域に立地

しているが、マンション等

の進出については、工業団

地に会員十三社による山手

工業連絡協議会が設置され

ているので、建築計画が市

に出された場合には、市と

協議する以前に施行者と山

手工業連絡協議会において

協議するよう、従来から指

導している。それぞれの工

業団地で抱える問題を処理

することは、大変困難性を

持っているが、今後、基本

構想の中で、都市づくりの

観点からも工業団地の位置

づけを考えていきたい。

地域福祉活動拠点の早期

実現化を求める

問 地域に福祉の拠点がな

いために、福祉活動に従事

している方々の連絡がなか

かという実情がある。今年

度、できるだけ早い時期に

いろんな地域で、ボランティア

精神で福祉活動をする方々

が、常に連絡を取り合える

ように、福祉の手伝いが必要

であれば、その拠点到電話

すれば用が足りるといった

拠点づくりをお願いしたい。

そして、形としては、地域

の実情にあった場所を選択

させてもらいたいと考えて

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

るが、

緑 政 会

「フーカーデー」について

問 CO₂削減のためにどんなこ

とを行っているのか。

答 平成二年度から県下に先

駆け、毎週水曜日を「省カー

デー」と称して公用車の使

用や職員のマイカー通勤の

自粛に努め、あわせて事業

者や市民にも使用抑制を呼

びかけてきた。さらに、平

成三年から七都県市の広域

的取り組みとして、十一月

から一月までを「省カーデー

」として使用抑制やアイドリ

ングストップを励行してい

る。また、低公害車や最新

の排ガス適合車の優先使用

を広報やポスター等で啓発

している。そして、今年度

新しい試みとして、酸化チ

タンを交通量の多い所に塗

布し、CO₂削減を図ってい

たい。

問 「フーカーデー」を設け

る考えはあるのか。

答 徹底したものではないと

思っている。今後の検討課題

として、他市の状況を十分

調査して、新しい体制づく

りについていきたい。

問 介護保険導入に向けて

施設等の基盤整備は間に

合うか。

答 平成十二年四月一日現在

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

あるので、市立特別養護老

人ホームの建設を進めてい

るところである。

問 介護保険施行後の福祉サ

ビス公社の業務はどうなる

のか。また、他に予定して

いる事業はあるのか。

答 現在、在宅福祉に関する

相談・助言・普及啓発、人

材育成及び福祉サービスの

調査研究等、他、市からの

役割を担うものと考えて

いきたい。

問 ヘルパー事業はどのよう

に変わっていくのか。

答 民間事業者と競合するこ

とにより、質の高いサビー

スの提供と民間事業者が賄

い切れないサービスも補う

ほか、民間事業者の指導的

役割を果たすなど、新たな

役割を担うものと考えて

いきたい。

問 介護保険料はなぜ公表で

きないのか。

答 現在国で示した全国平均

の目標数値に基づき算定・

算出した、不確定な要素を

含んだ保険料なので、市民

に誤解を与えかねない。

問 各地区で説明会を行って

いる中で、どのような質問

が多いのか。また、どう答

えているのか。

答 現行サービスが低下する

のか、あるいは低所得者対

策の充実などである。基本

的には現サービスを低下さ

せないように考えており、

また低所得者には、介護保

険給付率の内容を議論する

中で、十分検討してい

たいと考えている。

市議会を 傍聴しましょう。

質問内容等の詳細は、
「市議会会議録」をご覧ください。

第2回定例会の会議録は、議会事務局、最寄りの図書館で9月6日頃より閲覧可能です。

目の不自由な方のために
「声の市議会だより」
発行しています」

議会だよりの内容を吹き込んだ
カセットテープの貸し出しを
行っています。ご希望の方は、

議会事務局 電話 436-3012
までご連絡ください。

日本共産党

議会の構成が変わったことに
対する市長の見解を求める

問 今回の選挙の結果により、
議会の構成が変化したこと
についての見解を伺いたい。

答 議決機関である議会と、
その意思を実現する執行機
関である行政は、双方が独
立した対等の関係にあり、
互いに良識ある関係の中で
協力し合い、あるいはけん
制し合いながら、市民の福
祉向上のために、それぞれ
の権能を発揮していくこと
が望ましいと考えている。

南口再開発事業について

問 南口再開発事業において、
価格を引き下げてビルの床
を処分するにしても、また、
価格を引き下げないで、全
部市が使つことになっても、
市民の税金の負担となる。
このことについての見解を
示していただきたい。

答 事業費の圧縮や五法人に
対する保留処分を含め、
市の財政負担を軽減するた
めの方策などについて、協
力依頼をしている。

公共事業の発注について

問 戦後最悪の不況が続く中、
市内の業者の営業を守り、
市民の雇用を守るため、五
割を切っている市内業者へ
の公共事業の発注額割合を
大きくすることによって、
市内経済圏の仕事量・雇用
量を増やし、業者の収益が
増え、結果として市の財政
も豊かになるのではないか。
そのために市民要求の強

道路の整備の充実を

問 葉山台・三山線で、特に
二宮神社交差点付近におい
ては、歩道部分が狭く、抜
本的な対策が必要と思つた。
現在どのように進められて
いるのか。

答 現道内で可能な「生
活密着型」の公共事業を増
やすべきでないか。

答 今、難易度の高い工事
が多いため、経験のある業
者に発注せざるを得ない状
況にある。今後、下水道事
業の基幹整備が終わると、
市内業者に発注できる工事



南口再開発地域

が多くなるのではと考
えている。引き続き努力し
たい。

敬老行事について伺う

問 敬老事業費が年々削られ、
敬老祝い金を五年間分も減
らし、敬老行事交付金も削
られるようでは、高齢者に
冷たい市政ではないか。祝
い金は元に戻し、敬老事業
の充実を図るべきではない
か。

答 敬老行事の交付金につ
いては、平成十年度に減額し
たが、本年もそれ以上に厳
しい財政事情であり、今後
も現行を維持していきたい。

護者、県、市町村の三者で
分担しようとするものであ
り、事業を拡大するとは、
新たな財源負担を伴つこと
となるので、現行制度の中
で対応していきたい。

問 制度の改善を行わないと
いう意思表示は、実施主体
として市民に対し、余りに
無責任である。現物給付の
実施も、市内という枠の中
でなら実施は可能である。
制度の改善に直ちに取り組
むべきではないか。

答 現物給付制度の実現につ
いて、医療機関との問題に
ついては、各医師会との契
約が広範囲にわたるとい
うことで、無理があると聞
いている。

老人医療の負担軽減を求める

問 船橋市の老人医療費助成
制度について、国の制度と
同様に薬剤費の負担をなく
すようにしていただきたい。
ことは困難と考える。

問 六十五歳以上のひとり暮
らしや寝たきりの方に対し
る医療費の助成制度につ
いて、申請漏れをなくすた
め、成人病検診の通知等、
個別に通知できないか。

答 現在、成人病検診の受診
案内が五十歳以上を対象と
していることから、今
後、検討したい。

小学校給食調理の
民間委託化について

問 職安法に違反をしない
質を落とさず、安全に衛生
管理が図られた給食調理が
行われているのか。

答 開始当初は、給食時間が
遅れた。学校給食現場の状
況を視察、または調査し、
衛生や安全の徹底を一層図

つていきたい。

問 委託の入札結果は、談合
の疑いがあるのではないか。
詳細について確認する。

三番瀬問題について

問 示された県の見直し計画
では、船橋海浜公園の砂浜
に第二湾岸道路の巨大な橋
脚が立ち上がり、景観も
台無しで、緑地も橋げたの
下にわずか、とても市民
の憩える海辺ではない。こ
れで、市が要望した市民の
憩える計画なのか。

答 現在より、望ましい状況
になるのではないかと
思っている。三番瀬の干潟の機
能を回復した方が有益性が
あり、税金の無駄遣いにな
るので、人口海浜はやめる
べきである。

老人医療の負担軽減を求める

問 市民に親しんでもらえる
整備を要求していきたい。
港湾整備は、現在の埠頭
を工夫すれば、三万トンク
ラスの船も入港できると県
もいっている。埠頭はつく
るべきではない。

答 産業の振興、雇用の確保
の面から、大切である。

無所属

芝山地区の都市計画道路及び
土地整理事業について

問 芝山中わきの都市計画道
路の進捗状況はどうか。

答 住宅都市整備公団芝山団
地内の約三百八十メートル
については整備済みであり、
残りの約七百メートルにつ
いては、飯山満土地画整
理事業の中で整備したいと
考えている。

学童保育の公設公営化に
向けた基本方針を伺う

問 現在ある施設の中にも劣
悪な施設があるが、公設へ
と移行する施設整備計画は
どのようなものか。

答 小中学校の余裕教室、児童
ホーム等の公共施設の活用
が困難な地域については、
現行の児童育成クラブが使
用している施設の継続的借
り上げについても視野に入
れて検討している。

問 一児童当たりが必要とす
る施設の面積はどうか。

答 おおむね一・五平方メー
トル。民間借り上げの施設
の定数についても、これに
準じて設定したい。

問 指導員の身分は、一般職
非常勤職員とのことだが、
五年間という有期任用を改
め、現指導員の継続雇用を
すべきと考えるがどうか。

答 指導員の採用は、試験を
実施し、より広範的確な人
材を確保したい。五年の任
用期間については、現在関
係課と協議しているところ
である。

市民連合

介護保険法について

問 ホームヘルパーの時間給
を現在の千四百五十円より
引き上げて、人員も増やす
べきではないか。

答 船橋市の単価は、他市よ
りも上であると思うが、民
間と比較検討して事業を進
めたい。また、現在二級以
上の資格を有する者が百五
十名程おり、今後必要に応
じて登録数をふやす予定。
在宅で公的サービス受け
ている者が自立、また施設
入所者が自立や要支援と判
定された場合にどのような
対応をとるのか。

答 基本的には現行サービス
を低下させない考えである。
また、特別養護老人ホーム
も五年間の延長を認めてい
るが、補助制度等がどのよ
うになるのか見極めながら
市の方針を決定したい。

問 五年を過ぎた後のサービ
スはどうか。

答 六か月ごとに申請し、五
年経過後なお自立となれば
特老からは出てもらうこと
になるが、家庭の状況等で

在宅介護ができなければ、
何らかの施設に措置しなけ
ればならないと考える。

行田三丁目交差点の改良を

問 平成三年六月から滞って
いるコスモ石油前の用地買
収交渉を進め、早急に解決
すべきではないか。

答 来る七月十五日に都市計
画



交差点改良を早急に(行田3丁目)

い。損害賠償は法的手段を
考える中で、あわせて検討
していきたい。

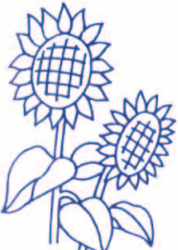
問 小学校給食の年度途中の
民間委託は、経費節減でこ
ろか千四百万円増となる
ので延期すべきではないか。
改修された慣れない施設
での負担増や混乱、必要な
人数の確保ができない懸念
から、年度途中からの委託
を選択した。理解願いたい。

問 平成七年度に委託を開始
した三中学校について、十
年までの間三回随意契約と
した根拠は何か。

答 受託者が毎年変わるこ
ともある入札は、学校給食の
円滑な運営を阻害するおそ
れがあるので、三年間を随
意契約としたが、公平性や
競争原理導入の面から二年
に短縮する方向で現在検討
を進めている。

問 委託料の伸び率が極めて
高いことから、直営方式の
方が安上がりだと思つた。

答 入札による競争原理の導
入で委託料上昇の抑制が期
待できるので、民間委託が
直営より経費の増大につな
がることはないと思つた。



ケア・リハビリセンター建設
費の未払い問題について

問 当事者間で処理できなけ
れば調停と同時に今日まで
一年間の不履行に対する損
害賠償等の請求をすべきと
思つた。

答 調停や訴えの提起は、議
会の理解を得ながら進めた